

石とあそぼう

ちがくのとち

★結晶を見よう ……鉱物の多くは自然につくられた結晶です

1. 桜みたいな石

「ホルンフェルス」は、地下のマグマで焼かれた石です。ホルンフェルスの中に見られるキンセイ石という鉱物がきれいに結晶し、風化して雲母化したものが「桜石」で、切り口は桜の花びらのように見えます。亀岡市葦田のちやう さくらてんじん「桜石」は 1922 年に国の天然記念物に指定されました。また、2017 年には「桜石」が亀岡市の石に選定されました。



2. 赤い宝石

るい溪では、小さな「ガーネット」の結晶が見られます。「ガーネット」は1月の誕生石です。赤い粒がザクロの実に似ているので「ざくろ石」ともよべます。硬いので細かい粒は紙やすりに使われます。



3. 川原の宝石 川原の石をよ〜くさがすと、白い「石英」の中に「水晶」が見つかるよ！

4. 食べられる石 「岩塩」は、食塩と同じ成分（塩化ナトリウム NaCl）が自然にゆっくり大きく結晶したものです。食べられるけど、たくさん食べると塩からいよ。

5. 磁石につく石 「磁鉄鉱」の小さな粒が集まったら砂鉄。

6. 水晶浜の砂 「高温石英」の結晶は、そろばんの玉のような形です。

ほかにもいろいろあるよ

結晶 物質の固体における存在状態の一つ。外見上は、平滑な多角形の面が鋭い稜(りょう)によって組み合わされた多面体となる。微視的には、その物質を構成する原子、分子、イオンなどが三次元的に周期性のある配列をとることが特徴である。三次元的配列の規則性は空間格子（結晶格子）とその対称性によって幾何学的に表現され、その規則性のために光学的性質、機械的性質、電気的性質、磁氣的性質などの物理的性質が結晶内の方向によって異なる、つまり異方性を示すことも結晶の特徴である。ガラスのような物質にはこのような結晶としての特徴はなく、非晶質とよばれて結晶とは区別される。

出典 小学館 日本大百科全書(ニッポニカ)